

The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第9号

令和4年11月1日

中学生の皆さんへ

キャリア教育部

今年も残り2か月になりました。今回と次回の号で「生き方」について考えてみたいと思います。仕事は何のためにするのですか？仕事とは何ですか？お金を稼がなくてはならないから嫌な仕事でもするのですか？簡単に稼げる仕事が良い仕事ですか？

価値観はいろいろあります。一つにこだわるのではなくて複数の価値観を持って、自分らしく生きられるのがいいですね。先になりますますが、価値観を形成するには、まずはしっかり働くことです。

日本人が知らない 世界標準の働き方 谷本真由美著 PHP研究所の中から紹介します。

ライフスタイルジョブという選択（その1）

英語圏では「ライフスタイルジョブ」という言葉があります。これはすなわち、**お金のためではなく、ライフスタイル=生き方、としてやっている仕事のこと**を指します。

ライフスタイルジョブを選ぶ人には、大きく分けて3つのグループがあります。

まず一つ目は、お金のことにこだわらず、自分のやりたいことをやる人たち、このような人たちの多くは、お金を稼ごうと思って働いていないので、それほどお金は持っていません。しかし、お金や地位といった、世俗的なものに対する執着があまりなく、それ以外に、何か自分が好きなことや、入れ込む対象があります。時にはビジネスが成功し、利益にはこだわりがなかったのにもかかわらず、大金持ちになってしまうこともあります。

2つ目のグループは、自分のライフスタイルに合わせて仕事を選ぶ人たちです。小さな子供を抱えた人、劇団をやっているので時間が自由になる仕事をする人、サーフィンの合間に仕事したいので海辺の仕事を選ぶ人、腰痛持ちなので体の負担にならない仕事を選ぶ人、親の介護と両立するためにオンラインでカスタマーサービスの仕事をする人、対人関係が苦手なので人と一切話さなくてすむ機械のメンテナンスの仕事を選ぶ人、夜型なので夜間のネットワーク監視の仕事を選ぶ人、通勤が面倒なので家で自営業をしている人、インドネシアが好きなのでバリ島でオンライン英会話の先生をする人などです。

このグループには、「会社に勤める」「誰かに雇われる」ことが合わなかったので、自分のライフスタイルに合わせたビジネスを始めた人たちも含まれます。

1つ目のグループと同じく、お金や地位に執着はありませんが、なんらかの強い信念や趣味よりも、自分の望む暮らし方に合わせて仕事を選ぶのが特徴です。

3つ目のグループは、事業や遺産相続で巨額の富を手に入れたため、これ以上お金のために働く気のない人たちが取り組む仕事です。その多くは、社会やコミュニティに貢献するものです。

成功した人が寄進する文化のあるイギリスやアメリカ、カナダでは、富を手に入れた人が、大学を経営したり、福祉施設に寄付したり、財団を運営して若い人や発展途上国の支援をしたりすることが盛んです。これは、どの国ももともとキリスト教が母体の文化が下地になっていることと関係があります。戦後になって近代福祉制度が十分整備される前は、各地域の教会が福祉を提供する役割を担っており、地域の篤志家は、教会を通して福祉に貢献したり、直接手を差し伸べたりしていたという文化が根付いているからです。

ライフスタイルジョブの例

開発援助専門家、学校の教師、医療関係職員、福祉施設職員、非営利団体職員、地域復興に取り組みたい役所の職員、有機農業、サーファー、音楽家、画家、電子書籍作家、スカイダイバー、伝統工芸製作者、こだわりのあるカフェ経営、プログラマー、探偵、YouTuber、在宅データベース開発者、ウェブデザイナー、投資家、ライター、ブロガー、ビルメンテナンス、環境活動家、動物保護活動家、政治活動家

みなさんは、ライフスタイルジョブを選択しますか。

選択してもよし・選択しなくてもよしです。自分らしく生きればよいのです。・・・しかし、「自分らしく生きよう！」というのは簡単ですが、「自分って何？」という問いが、一番難しいのではないのでしょうか。自分探しの旅＝人生という人もいます。結局、答えは自分が見つかるしかないのです。100人いれば100通りの生き方があっていいのです。

今、自分の価値観・生き方を作っていくために学んでいるのです。テストに出るとか出ないとかではなく、学んでいるすべてのことが血となり肉となっていくのです。まずは、学ぶ時間を多くとって、「自分って何？」をつかんでいきましょう。そうすれば、将来が明るく見えてきます。

入試のためだけではない、自分の好きなこと、興味・関心に基づいて学習すれば、あっという間に2～3時間は経ってしまうと思うのです。

Do what you love and success will come.